

令和5年度 第3回京丹後市図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年3月26日（火）午後3時～5時5分
- 2 開催場所 京丹後市役所大宮庁舎 1階 大宮保健センター
- 3 出席者 村上弘樹委員（会長）、松岡豊美委員（副会長）、増田明子委員、
寺田裕美子委員、東恵美子委員、味田佳子委員、東哲委員、伊藤慎二委員、

（事務局）松本教育委員会教育長 引野教育委員会教育次長、安達生涯学習課課長、
亀田図書館長、田辺主任

（欠 席）木本敦子委員、起須周平委員

4 議 題

報告・協議事項

- （1）令和6年度社会教育推進の重点について
- （2）京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定について
 - ・京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議報告
 - ・都市拠点公共施設整備基本計画書について
- （3）図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート」の結果と今後の対応について
 - ・アンケート結果について

その他

5 公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0人

《 議事経緯 》

● 開 会

事務局 ただいまから、令和5年度の第3回目となります、京丹後市図書館協議会を開会いたします。本日、木本委員様と、起須委員様はご欠席のご連絡をいただいております。そして三田委員様ですが、現在他の会議に出席をされております。少し遅れての出席となるとお聞きをしております。あと引野次長も他の公務がありまして、遅れての出席ということにさせていただきます。

それでは協議会の成立についてご報告をいたします。京丹後市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定、委員の過半数の出席がありますので本会議は成立していることをご報告いたします。

● 挨拶

事務局 それでは開会にあたりまして村上会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長 それでは皆さん、大変ご苦労様です。年度末で、大変だなと思いながら来させていただきました。委員の皆様方には本当にいろんな形でお世話になっておりまして、春になってなかなか暖かくならないなと思っておりましたら、彼岸が来て仕事柄そういうふうな話題になってしまうんですけど、ちょっとあったかいかなと思いましたら、中日はすごい吹き降りで、またずっとこのような天候で桜の開花のニュースが朝のニュースで出ますけども、なかなか足踏みということで、丹後の方も4月入ってからでないと今年はちょっと遅いかなという感じで、勝手な思いをしております。ちょうど私のところでも春休みになりまして、子供たちがちょっと集まることがあります。それで、今年の行事はどうなるのっていうふうなことで、地域の行事ですけども、聞いていますか、いや何も聞いてないとかいうことで、地域で5月5日にはちょっとした行事をしておるんですけども、子供会の方と一緒に、子供会でそんな話出ているのいうことで話をしてみました、全然ということで、その行事というのは花まつりというので月遅れでしておるんですけども子供会と一緒に、子供たちにとってこの4年間というのが何だったそれ、そんな感じで、1年生の子が4年もう5年進級ということなので、小学校の子供のこの4年間というのはものすごく成長する4年間だなあということを思ったんです。それで、私たちある程度歳がいきますと4年のことはあまり気にしないです。ですけど、子供たちにとっては本当にもうこの2年以上ということになると忘れてしまう、そういう面で行くとこの今日からまた皆さん方にお世話になる協議会ですが、具体的な大変充実した資料も事前にをお届けいただきました。

そういう面でも、この子供たちがこの4年とか、小学校でも6年ですのでね、中学校は3年、高校も3年。もうそれでガラッと変わってってしまうという、その時間のスパンを考えると、やっぱり計画的にもう進めていただいておりますが、その時間を大切にやっぱりこう考えながら、具体的に進めていく、積み上げていくことが本当大切で、今できることをやっぱり一生懸命やっていくことが大事だなということを今日子供たちと活動しながら思ったようなわけであります。そういう意味では、今日またいろんな視点から、委員の皆様方にも具体的なご意見もいただきながら、またより良い形で、今回の資料を私、個人的に勝手な見方もわかりませんが、複合的な建物といいますか施設ができるという視点で考えていく中で、より図書館が肝になった中心になった拠点づくりといいますか、そういったことをすごく感じたわけです。そういう面では、子育て支援とか、いろんな複合施設になるわけですが、図書館としての広い視野を持った形でまたご意見をいただけたら大変ありがたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

事務局 はいありがとうございました。次に松本教育長からご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さんこんにちは。本当に年度末で押し迫ったところでの会議ということで申し訳ありませんけれどもご出席いただきましてありがとうございます。学校現場にとっても本当に忙しい中出席いただき、ありがとうございます。

さてですね、本当に先ほど会長さんからもありましたようにコロナが明けて、今年度は学校現場も、社会教育においてもおおよそ今まで通りに、活動ができるようになってきたのは本当にこれありがたいなというふうに思っているところでございます。学校教育におきましてはですね、この日曜日に、先週の土曜日から行っておりましたニュージーランドに中学2年生が15名、海外派遣事業ということで、9日間の研修という大きな経験をしてまいりましたがこれも、本当に5年ぶりということで、もうその5年ですっかりとニュージーランドとの関係もなかなか難しくなしまして、今回がニュージーランドに行くのが最後になって、来年度新たに、オーストラリアのパスを一応候補地として、中学生の海外派遣をしていこうなんていうことにしているのですが、そういう関係性についても、このコロナで大きく変わっていくというそういうようなところの1年だったんじゃないかなというふうに思っております。学校現場も皆さん、お知りおきのことかと思いますが、今もうそうした知識をただただ覚えてっていうような学力から、みずから課題を見つけてみずからその解決していくような探究的な学びがやっぱりこれからの社会を生き抜く上では必要だということで、その探究的な学びを丁寧に進めていこうということでそうした事業に変えていこうということで、ここ数年京丹後市も丁寧に取り組をしているところでありますし学校現場と協力をしながら進めているところでありますけれども、そうした学びをしていく上でもですね、図書

館の役割図書室の役割というのは大変重要で、物事いろんな角度から調べ、そういう課題解決していくための知識とか、そういうものをしっかりと自分の中にため込んでいくうえでの読書というところは本当に重要なのではないかなと思ひまして、ICTが進展してですねそういう社会になっていったとしてもやっぱり読書とか、読書活動っていうのは、子供たちにとって重要だと思っていますので、ますますそういう重要性は高まっていつているんじゃないかなというふうに思ひます。

そうした中で先ほど会長さんからありましたように、都市拠点のところに中央図書館という形で図書館を建てていこうというところで、皆さんにもいろいろご意見をいただいているところでございます。いろいろ議会の方でもね、ご質問やご意見をいただいているんですが、あくまでも中央図書館は、しっかりと皆さんのご意見をいただきながら、建てていく。ただ、そうした中央図書館を建てていく上で、今後の京丹後市の図書館図書室のあり方は、答申もいただいておりますけれども、地域の声や皆さんいろいろな人達の声の聞かしてもらいながら、そうした声も十分反映しながら今後さらに検討していくというこの2つのスタンスをしっかりと持って、京丹後市としては進めようとしておりますので、今日委員の皆様方もですね、そうした点で中央図書館についてはこれまで通り多くの意見をいただいてよりよいものにしていく、さらには、いろいろな今日もありますけれども、今後のアンケート等も踏まえまして今後そういうふうな館・室のあり方についても、意見をいただくというふうなところで進めていきたいというふうに思ひますので、今後ともいろいろご意見をいただきまして、検討させていただきたいというふうに思ひます。今日もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは早速ですけれども、議事に入らせていただきたいと思ひます。次第によりまして進めてまいります。今日は報告事項ということで始めさせていただきます。

まず、この後の協議、司会進行ですけれども、条例の施行規則の25条におきまして、会長が議長となるというふうになっておりますので、村上会長にお願いしたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

● 報告事項

会 長 はい。それでは失礼します。

まず第1点目、資料1ですが「令和6年度の社会教育推進の重点について」ということでそれは事務局の方からよろしくお願いします。

【(1) 令和6年度社会教育推進の重点について 資料1の説明】

会 長 はい。ありがとうございました。ただいま説明をしていただきました。ご質問などありましたら。いかがでしょうか、特によろしいでしょうか。

 それでは、2の方ですね、「京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定について」ということで入らせていただきます。この会議の方にはこの図書館協議会の方から松岡副会長さんの方にご出席をしていただいておりますので、松岡さんの方から最初、概略といいますかちょっとご報告いただいてそのあとで事務局の方から詳しくまた報告をしていただけたらというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

副会長 失礼します。都市拠点の施設整備基本計画の会議に出させていただきました。5回会議がありまして、そのうち1回は和歌山県の方に視察でした。なので、市役所の中で会議をしたのは4回でした。その中で、いろんな団体から出てきておられまして、区長連絡協議会、福祉協議会、それから障害者団体連絡協議会、女性連絡協議会、PTA協議会、子供未来まちづくり審議会、文化芸術振興審議会からも来ておられまして、あと、京都大学の大学院の経営管理研究部の先生も来ておられました。そういう中で会議をさせていただきました。図書館協議会から出していただいているということで、この会議の中で、皆さんがおっしゃってくださったことを本当にちゃんと伝えることができたのかどうか、自信のないところですけども、図書館協議会としていろいろと意見を出させてもらいました。出席させていただきました、私は退職して12年になりますし、ボランティア活動を通して図書館にはずっと関係を持ってきたんですけども、視察や皆さんのご意見を聞かせていただく中で、本当に勉強になりました。特に視察は、私もいろいろなところを個人的にも回りましたが、時代は変わっているんだなということをととても感じました。その中で、京丹後市にいい図書館をということ、図書館だけではないんですけども、今回の施設に関しましては、図書館部分について、いい計画ができるようにと思って意見を出させていただきました。個人的にも大変勉強になりまして、参加させていただきましたありがとうございました。その中で、委員がいろいろ立場から出ておられますので、いろいろ意見が出ました。本当に、その地域の中から出てきておられる委員からは、やはり土地の買収に関する問題も必ず毎回出てきましたし、大変だな、なかなかこれは予算も大きな予算がかかることですし、大変なことではあるなとは思いました。その中で、今日図書館長さんから、私がもう最後の方で言った意見を皆さんに言わせてもらうということをお聞きしましたので、最後の会議の中で、その時にはもうこの基本計画っていうのは、大体できていました。その計画を見ながらみんなが意見を

出す中で、最後の会議の中で私は特にやっぱりこれからは高齢者が増えてきますし、あと障害がおありの方、そしてちっちゃい子供を連れた方がたくさん来てもらう施設になると思うので、最後まで気になったのは、駐車場でした。この会議の資料お持ちの皆さん、26 ページを見ていただきましたら全体のゾーニングイメージ図というのが出てくるんですけども、ちっちゃい図ではありますが駐車場ゾーンとそれから建物広場ゾーンとの間に道があります。これは高速をおりてきてそして行く道で、その向こうにはしんざん小学校があるということで、いろいろ質問したんですけど、この道しかここしかもう駄目だということで、図書館としては車を止めて建物の中に入るときに、大きな道を渡らないといけない、それも交通量が多いということなのでそれを最後までやっぱり心配しました。なので、安全に道が渡れることでなければ、だんだん億劫になっていくっていうことは絶対利用の減少につながるので、やはり工夫がしてほしいということを最後まで出しました。地下に潜るわけにはいかず、陸橋もつけるわけにはいかないのに、マインもそうなんです、マインの前の道よりもちょっと大きな道になりそうな感じでしたし、それを毎回渡らなければならないっていうことはもう大変な負担になってきて、だんだん行くのが億劫になるっていうことが一番恐れることでありましたので、建物の横にも障害者の方とか高齢者の方、ちっちゃい子供さん連れた方は停められるスペースを必ずつけてほしいということを出しました。案の中で、何階建てになるかわからないですけども、1 階に駐車場ができるかもわからないんですが、なるべくずっと移動できるような工夫をしてほしいということで、それは4 回目ぐらいから言っていたので、建物の横にスペースを作って駐車場作る予定ですというふうにおっしゃっていただきました。それと、図書館の中にぜひ、できるだけ新しい本をたくさんそろえて欲しいということを出しました。せっかくピカピカの施設ができて、本が古くては本当にちょっとがっかりしてしまうので、予算ももちろんかかることはよく知っているんですけども、やっぱりピカピカの本をたくさんおいてほしいということを出しました。それから、先ほども出ていましたけれども、本を借りるだけではなくて、本当にほっとする場所、そして、いろんな機能をたくさん作って、実習する場所とか。先進視察に行ったときに特に感じたんですけども、1 人になれる場所があったり、友達と一緒にいてお話ができる場所があったり、たくさん場所があったので、図書館で本を借りるために行くだけではなくて、あと子育て支援の施設を利用するためだけではなくて、それだけではなくて特に何もないけど行こう行ってみようという施設にしてほしいということを行いました。子供たちがグループで来ても、みんなでしゃべったりできる楽しい場所にして欲しいということを出しました。それから、実際これが進みましても、建ってくるのは5 年も6 年も先のことになりそうな感じだったんです。今から用地買収とかが始まるようですので、そんなすぐには建たないんですけども、建ちましたらぜひ資料とともに、人の手が必要であるということを行いました。障害のある人、迷っている人、教えてほしい人、

案内してほしい人がいたらすぐに対応できる人員を確保してほしいということを出しました。やはり資料と、人の手っていうのも確かに絶対必要であると思いましたので。この本はどこだろうと思ってもなかなか探せないようなことだと困りますので、いろんなことがすぐ聞ける人をたくさん増やしてほしい。それとともに、正職員の増員ということも言わせてもらいました。今、6館があって正職員が2人です。そのしんどさは私もよくわかります。たくさん会計年度任用職員さんおられるんですけども、やはり正職員の増員ということはとても大事なことであったので、それを要望させてもらいました。すべて予算がかかることではありますけれども、本当にみんなが行きたくなる施設になるように、図書館部分について、今申し上げたようなことを最後に言わせてもらいました。以上です。

会 長 ありがとうございます。そうでしたら引き続き、事務局の方からも説明をしていただきまして、そのあとでまた意見交換といいますか、ご意見等ありましたら出していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

【(2) 京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定について 資料2の説明】

会 長 はい。ありがとうございます。それでは、ここまでの、とりあえずご意見いただきましょう。はい。それではただいま説明をしていただきました策定検討会議の報告と基本計画書について、どの委員さんからでも結構ですので感想も含めて、ご意見いただければと思いますがいかがでしょうか。

教育長 先ほど副会長が言ってくださった、A案からD案、C案だったら駐車場はその下に入るということですか。

事務局 今のは28ページからの話ですね。28ページがいわゆる1階建てのパターンとそういうことになりますね。

教育長 そこには駐車場は書いてなくて、C案だけ1階駐車場ってことは1階丸々その下の部分が駐車場になって2階3階を造るということでしょう。ということは、A案B案、D案は駐車場はさっき言った道を隔てて反対側の駐車場を使うということですか。

事務局 C案が1階が駐車場で、2階と3階に施設が入るということです。

会 長 いずれにしても道を隔てたところが駐車場になるのではないですか。

事務局 駐車場になると思います。私もそういう認識ではいるのですが。

委 員 まだ土地の購入はしてないということですか。

事務局 できてないと聞いています。

副会長 1 階が駐車場になっても、でも道を隔ててこっちにも駐車場はあるということです。A 提案とかであっても、ちょっとスペースを作って乗り入れできるように、それも作ってもらう。障害の方などが入れるような。

委 員 建物があり、駐車場は必ず道を隔てて半分ぐらい確保することですか。

事務局 ここに書いてあることしか、私も情報がないです。副会長から最初にご紹介いただいた、今土地がきちんと確保できた場合で、駐車場ゾーンと建物ゾーン、そしてこの建物ゾーンには一部駐車場ということが、これがおそらく副会長から要望していただいた、そこが採用された部分だと思うんです。やっぱり大きな施設を作るとなると、駐車場は一定以上必要になると思うので、そこが確かにこの絵だと道路を挟む、確かにマインのイメージありますね。やっぱり渡るといのは結構安全面でどうかなというところがありますね。その辺り、この道をどうにかできないのかどうかとか、そういうところがあります。

委 員 できたら道を、他に移動してもらうかなんかしないと、事故が起きてからは駄目ですよ。人命、人間の命は 1 つしかないのです、できたら道をちょっと移動していただくぐらいの気持ちで頑張ってください。

事務局 そうですね、やはり安全、安全な施設それが第一ということで、これもきちんと伝えます。

委 員 それと 3 階で 1 階が駐車場。地震とかの場合、安全なのかどうかということも十分検討して欲しいと思います。

事務局 そうですね、建物の強度といいますかそういったところが、1 階が駐車場っていうと何かイメージ的に弱い感じもしますが、柱がどれだけあるとか、その辺りはやっぱり今の基準に合わせて設計されるので。

委 員 それから、水害に遭いやすいということが書いてありましたよね。そうするとどうしたら一番安全で長いこと使えるかを考え、十分に検討しないと。61 億も使うのだったら、京丹後市の相当の資源ですから、そんな中途半端な考えでの実行はあかんと思います。なんかきついと言いますけど。

委 員 この道は今は農道ですけど、ゆくゆくはここ通学路になるんです。通学路ということでちょっと広くなって、そして今おっしゃったマインのところの道は、あそこ商業地域だけが使うような感じが今のところしています。高速で降りられるようになってくると、一般道として一般の利用者もここを通りますので、そうすると、危ないですね。ここに、高速から降りたらこっちには入れないとか、そうだったらまだわかるけど、どういうふうになったらいいかなと思って、この資料をもらってから見ているんです。右側の駐車場のところは、イベントにも使えるということで書いてありましたね、そういう場合はいいんですけど、やっぱりここ一般車道とするところもあるとなってくると、ちょっと危ないなと思いますね。今、しんざん小学校の前でも結構 40 キロ以上で走ってくる車があつて、警察の方にちょっとお話して取り締まってもらったことも何度もあります。そういうことを考えると、ビューンと走ってくる人もあるんだろうと思うので、ちょっとこのところ考えていただきたいなと思います。

会 長 はい、今やはり安全という部分については、いろんなパターンの先ほど副会長もおっしゃっていただいたように、障害のある方とか高齢者とか、優先の駐車場が図書館に隣接して何台かはできるとしても、それがいっぱいの場合にはどうか。今は、車椅子の方は普通に配慮もしていかなければいけない、そういう状況もありますし、そういうあたりでは、何らかの形で平行移動が駐車場からできるような施設がより求められます。そうすると、ちょっと配慮して迂回するか、高架にするかというような形で何とか設計ができないかな。迂回というのはなかなか難しいと思うので、図書館に行くところの通路の部分については、平行移動で当然行けるような形で、車がやっぱり動けるものが動いていただくということで、5、6m もあれば十分でしょうし、通路としてもそんな大きな通路が必要ではないと思うので、そのあたりは検討していただけたらと思います。高架にした場合には、上は幾らでもコンテナでもいけるので、通路として車幅の 4m あれば十分一般車両でしたらどんな車でも通れますので、上は 2m ぐらいあればいけるので、そういうあたりが今お話聞いてちょっとどうかなあと思いました。

事務局 はい、この意見をきちっと伝えさせてもらおうと思います。

会 長 他はいかがでしょうか。

委 員 市民ホールもそこに一緒に入るとあり、それは200人ぐらい入るホールですと書いてあります。それで、今まで文化会館でやっていたような音楽的なことをする、できるということでしょうか。演劇であり何であり。

事務局 そうですね席数が全く違いますね。ですから規模感は全く違います。半数どころではないですね、文化会館は750席はあるはずで固定席ですね。今回ホールは聞いておりますと、移動観覧席なので全部片付けることができ平面にもできるといって、いわゆる多目的のホールということを考えているようです。やっぱり使い勝手というところだと思います。固定席にしてしまうと、やはり使い方が限られてしまうというのもあると思いますね。

委 員 文化会館も古くて、座席も狭くて、もう行ってもいつも狭いと言いながらおるんですけど、あれに変わる計画はないですか。

事務局 今のところ市の施設としてはないと思います。文化会館自体は京都府の施設ということもあって、京都府にはその耐震のことであるとか、やっぱり老朽がかなりきておりますし、バリアフリーには本当になってないんですねあそこね。そういったような申し入れというのはしているところですけどなかなかですね。それに代わるものという感じではないと思います、ここでの市民ホールというのは。

会 長 はい。どうぞ。

委 員 駐車場に関して皆さんが言われたように、安全面を考えていただいてっていうのは私も心配しているところですし、あと、26ページにも、動線機能が平屋の場合は移動が容易になる一方で移動距離が長くなります、というデメリットが書いてありまして、私も本当に足の具合が悪いときは、エレベーターは必ず作られますよねこういう施設だと、エレベーターに乗れば1階2階3階どこでも自由に行けるはずなので、その移動、平屋、平行移動ができるということにこだわる必要はないんじゃないかなっていうふうに資料を読んでいて思いました。先日福祉事務所に行ったときに、乳幼児健診の時間帯だったので、保健師さんが傘持って赤ちゃんに傘を差し出すように、私に車へこうやって赤ちゃんいますかあと出してこられたんですね。そういうやっぱり雨の日の乳児健診にそういう配慮をされているのだなというふうに私は感じて、素晴らしいなとやっぱりそういうことを感じましたので、副会長が言われたように、建物の中にそれが1階なり地下なり、マインのように上の階なり、やっぱり同じエレベーターで移動できるところで雨がかからないところの駐車場っていうのは、それは健康推進課さんの方で多分ご意見を言われる保健師さんたちからの子育て支援とか、健康推進課の方々から、そういうことは意見が出るかと思うんですけども、図書館利用される方にも同

じょうことがいえるんじゃないかなあと思い、図書館の方からも同様に、そういうサービスちょっと駐車場に関する、意見としては必要かなって私は思いました。

会 長 はい、ありがとうございます。他どのようなことでも結構ですので、何かお気づきになられるようなことありましたら。

先ほど教育長も言われた、ABCの案が出ているわけですが、これはどのような形で、この協議会での意見とかそういうことが反映されるのか、もっと他のところで検討されるのか、どういう形になっとるんですか。

事務局 そうですね、これはまだ案ということで、どれになるかというのもまだ定まってないもので、1階の案であればこういうイメージですよということだと思いますので、まだ決まっているわけではないなというふうになります。担当部署というのがありますのでそこで設計ですとかは入っていくのだろうと思いますし、あとそういった設計の、その業者さんっていうところも、こういったデザインをしていくと思うので、この配置なんかもこれでごちと固まってるわけではなくて、より使いやすいようなアイデアが盛り込まれたような設計になっていくのではないかなと思いますが、まだ1階にするのか2階にするのか3階にするのかも、決まっていないですし、もしかすると土地の広さというところにも影響してくるかもしれませんね。狭ければ、やっぱり上に伸ばさないといけないということにもなりましょうし、まだそういったところの情報は、そこまでいってないところですね。ただ今おっしゃっていただいたような、駐車場の安全面であるとか、あと屋根がある方がやっぱりいいですよ、とかというところはお伝えさせていただこうと思っております。はい、なのでまだまだ余地があるんじゃないかなと思っています。

副会長 駐車場に関しては、26ページの図でいきますと、建物・広場ゾーンと駐車場ゾーンの中に、白い部分がありますね。それはもうすでに家が建っているとか、倉庫があるとかで、ここは買収しないということなので、この肌色のゾーンの中でできるということなんです。それで、駐車場ゾーンがあるのは先ほど委員も言われたホールの利用なんかのときに、200席あるんですけれども、そういうときに便利だなと思いますし、やっぱり図書館についての協議、今何も決まっていなくて実施設計の中で形になっていくだろうと思いますので、協議会の中からやっぱりその駐車場に関して先ほどもご意見があったように、やっぱり隣接したり、屋根があったりする駐車場をとということ、そういう要望は出していったらいいんですよ。やっぱり図書館利用するにあたって、こうであってほしいというのは今から言っていっていいんだなと思っています。

委員 小さいお子さんを抱えている人がすごく気にしているのは、親子で図書館に行って、そのあと屋内の遊び場ができるようですが、その屋外でも遊べる場所を欲しいという話はしておられます、本当に。もうどこ行っても遊ぶ場所がない、そんな子供を育てるのは大変だいうふうなお母さんが多いです。そういうことも考えながら、今さっき副会長さん言われたように、白い部分は地主さんがいてそこは売っていただけない、すでに建っているんで移転もできないことですよね、もうそれそう思うとすごいお金が必要ですし、買収ができないかもわからんですし、もう本当になんか、全部使えますというような場所があったら本当はいいなあと、私はつくづく思います。危ない場所だし、高速は横にあるし、もっといいとこがなかったかなという、そんな感じがします。すごく何か不安ですね。

副会長 子供たちが中で、屋内の遊び場もそれぞれの案の中にあると思いますし、例えばA案28ページだと、真ん中に広場があるので、ここで子供たちは安全に、飛び回って遊べるだろうと思うんです。それから、B案でも外で遊ぼうスペースは、作るように言っていました。他の案でもできると思います。安全への配慮はもうもちろん大丈夫と思います。

会長 このゾーンで囲まれているその敷地内はもう当然のことながら、範囲は全般そんな外から勝手に入ってくることができるようなところではないように、そういう設計だと思いますので。はい、それはもう、今いろいろと安全管理等ありますので、遊具等に関わっても、それなりの施設また計画していただけるというふうに思います。

他、いかがでしょうかよろしいでしょうか。そうでしたら、もうこれはこういう拠点施設計画というのが策定されているということでございますので、さらにまたいろんな形で修正がこの計画自体にも係ってくるというふうに思います。そういう中で、また何らかの形でご意見等反映させていただく、特に今あった道路の問題、安全面というのはこれも日常的なので、雨が降るからどうのこうのという問題ではありませんので、はいぜひまた意見の方を上げていただければというふうに思っております。

はい。それでは次に行かせていただきます。3の、今後のあり方に関するアンケートに入らせてもらってよろしいでしょうか。はい。よろしくお願いします。

【(3)「図書館、図書室の今後の在り方に関するアンケート」の結果と今後の対応について
資料3・4-1・4-2・5の説明】

会長 ありがとうございます。今丁寧に説明をしていただきましたですが、ご意見等ありましたらよろしくお願いします。

以前の協議会で、大宮図書室の利用が学生も便利というふうな意見があったり、議会の説明の中でかなり大宮の方々がやっぱり残してほしいという、内容的にもかなり残してほしいいうことが、Facebook を見ても結構あるような感じがするんです。図書館を利用することを考えたとき、できるだけ京丹後市のどこに住んでいても、受けられるサービスがあまり格差がないという、完全に同じというのは難しいかも知れませんが、やっぱり最大限どこに住んでいても、どこで生まれても、やっぱりそういうチャンスとかそういう機会ができるということを、私とこの地元だけがよかったらということではなしに、全体のことを考えてやっていかないといけないというふうに思うので、やはりその辺の中身をもう少し掘り下げて、期間は建設のずっと中ではあるんですけど、スパンはある程度ははっきりして、そのスパンの中で何を決定していくのか、一挙になかなか動かないとわからない部分もあると思うんです。大きい図書館の中、こういう総合的な中での推進はやはり大事なことであって、今までにない水準の図書機能なり、地域の文化的なことかいろんな部分で追及しようと思えば、やっぱり拠点的なものは大事なんですけども、一方ではそういうふうなことで格差というか集中することで忘れ去られる地域があるようで、そういった場合に、1つ中央図書館、中央のところで今心配されているような中身が、どれだけ補完できるか、また代替の確保で返す方法とか、いろんな交通の関係とか、その辺の部分の中身をもう少し掘り下げて、今言われましたように二次的な調査をして、その辺が分類をある程度して、やっぱり高齢者がなかなか離れていくと行けない、これについてはこういう対策がありますというようなことを、やっぱりはっきりその中で交通整理をしながらしていかないと違うかと思います。それとやはり、高齢者もいわゆるインターネットなどあるんですけど、やはりまだまだその辺理解してない部分がたくさんあると思うんです。だから、今のその気持ちだけではなく、やっぱり自己啓発とか、我々の世代でも後期高齢者になってもいろんな部分で新しいことについてチャンスを掴んで、その辺のことを知る機会は大事だと思うんです。私も動画づくりとか語り部をやっているんですが、語り部の動画作るのでも音をどうするとか、音とか画面とかいろいろ組み立てていかないといけないんです。それを勉強していると、いわゆるチャレンジコースみたいなところで勉強したんです。そうすると、音は吹き込むのをどうしたらいいか、録音をどうするか、それをどういうシステムのと、音も何もできなかった人が1年ぐらい経つと、音を吹き込んでLINEで送ってとかいうことができるようになったら、こんな便利なものはないというようなことになって、意識が変わっていくんです。60になっても70になっても、やはりそういうこともあって、そういう中央の機能の中で出来ることがどんなことがあるのか、高齢者でも勉強して理解をしていく。しかし地域の声があって、具体的に何%というふうにありましたけども、高齢者は何でどういうことでそう思っているのか、中堅世代、現役世代はなぜそう思っているのか、その辺はもう少し分析すべき中身かなと思うので、その辺をちょっと計画的にや

っていったらどうかというふうに思います。進む部分は進めていかないと
思いますけども、その辺のサービスが落ちてはあかんというのは確かにあるので、そ
の辺は、いわゆる民意を聞く機会をもっともっとやっていったらいいのと違うか
なと思います。

委員 はい、すいません、この協議会で答申を出しているんですが、これは答申返さ
れたってということですか。どういうことを、何を話さないといけないのかがちょ
っとわからないんですけど。答申で図書館を作ります、大宮図書室と弥栄は統合
してという答申をもうすでに出しているわけで、それに対してさらに議会の方で
意見を聞きなさいと言われて、それがここに返ってきたってということでしょうか。

事務局 そうです資料の3にあります、これが議会に出された附帯意見ということにな
ります。ここに書いてあります通り、答申で峰山図書館、弥栄図書室、大宮図書
室を統合するとの答申があった。しかしながら統合については、まだ今決定して
いるわけではないということが書かれております。都市拠点のこともここには書
いてありますけれども、これに関しては、都市拠点で中央図書館を整備するとい
うこととこの統合の話は別物ですという返答は先日の議会ですべてもらっており
ます。今おっしゃっているところでいうと、議会の方からはもっと民意を聞くべ
きであるというのがこの1番です。地域や利用者の声をもっと聞いてください、
いろんな意見が今出ていますということです。それを市としては、まず今回のア
ンケートは利用者の方にお聞きしたということです。それは、また皆さんに知っ
てもらわないといけないと思っていますし、さらに、地域、特に峰山弥栄大宮を
中心とした意見を聞いていって、それも踏まえて、答申はもちろんこの場で協議
いただいたすごく重要なご意見ですので、それを無しにするという話ではなく、
新たにまた年も経っているというところもありますので、そこでまた地域の意見
も聞かせてもらいながら、その地域の意見というのは個別に聞くのもそうですし、
この協議会というのもいわゆるその地域の意見を集める場所ということだと思っ
ておりますので、そういったところを総合的にしっかりと考えて、市民の方が使
いやすいですとか、ためになる図書館の全体的なあり方、中央図書館の話だけで
はなくて京丹後市で図書館をどういうふうに考えていくのかという、そこまで考
えていかないといけないということなので、今統合をどうするとかっていうのは
決まってないということになっています。

教育長 ここでの協議会での答申も出ていて、これを新たにいろんなアンケートがある
から答申をもう一度出し直し、諮問もしてないのに新たに答申を出し直すなんて
ことはありえないわけで、答申をいただいたこれはすごく深く教育委員会として
とらえていて、それを丁寧に議会や市の方にお伝えしていると。だけれども、も
っと多くの声を聞きなさい、そしてそういう声を聞いた上で最終的には教育委員

会がイニシアティブをとって、図書館・図書室のあり方を検討してくださいというご意見をいただいているので、そういうところに対してこのアンケートの結果等のご意見をいただいた上で、教育委員会が最終的にはいろんな人たちの声も聞きながら、最終的な結論を市と一緒に考えていくという、そういうスタンスですので、ここはあくまでも答申いただいた、こちらが諮問させていただいて答申いただいたという立場ですので、このスタンスは変わらないというふうに思います。

委員 はい、わかりました。今ご説明いただいたように、ここの場の意見も地域の声ということで意見を聞いていただいているということ。それから、アンケートで、利用者のアンケートをとられたということなんですが、最初に説明していただいた、この推進重点のところでは未利用者へのアプローチっていうのがとても大切だというふうに書いてありますので、新しい図書館どういうものにしていこうかというのを考えたときに、やはりこの利用者だけのアンケートというのは、1つの声ではあるんですけどちょっと足りないのかなと思っています。先日別の会議、教育振興計画のときにも、同じく、同じような内容の図書館をどれぐらい利用されていますかっていうアンケートをとられているんです。それは利用者対象ではなくて、無作為抽出で取られていて、その分母は今回の利用者のアンケートよりも多かったです。回答件数今回の利用者アンケート 470 件に対して、無作為抽出のアンケートは、分母が 752 ということでした。そこには図書館は使っていない人ももちろん含まれているんですが、その結果と余りに違いすぎていて、その結果は図書館を 1 度も使ったことがない、年に 1、2 回しか使ったことがないっていう人が 80% だったんです。なので、アンケートをとって地域の意見を聞こうっていうので、ちょこちょこちょこちょこ何回も何回もアンケートをとって、その都度対象によっても変わってきますので、しっかり大きなアンケートをとってそれでいろんな施策に反映していく方が偏らないかなあとと思っています。中央図書館みたいに大きいものを作るっていうのは、ここからの意見として出したと思うんですが、その作るにしても、弥栄や大宮をなくすか残すかのところがまだ決まっていないということですかね。

事務局 はい、そうです。

委員 そのことについては、前回、委員もおっしゃったかなと思うんですけど、紙の本だけではなく、もう今後考えたときには、Wi-Fi が飛んでいるだとか、デジタルのものが読めるっていうようなことが今後大切になっていくんじゃないかなという意見はあったと思います。なので、もう場所ごとなくしてしまえというふうな、そういうイメージは実は私も持っていなくて、カウンターがあってエプロンした職員さんがいて本があるというような、そういう意味での、いわゆる今までの図書室というものは、図書室という名前はなくなるかもしれないです

けど、机があって Wi-Fi が飛んでいてコンセントがあって、誰でもいつでもこられて、本も多分ネットで予約するとそこに届けてもらえるっていうような、そういうものの方が今後考えると望まれているんじゃないかなと思いますので、今まで通りのものをそのまま残さなあかんということになると、この諮問を受けたところに逆戻りしてしまうというか、大宮、弥栄がいろいろ不都合があるので、どうしようという諮問を受けているのに、いやあそこはそのまま残しようっていうふうになるとちょっとまた逆戻りをしてしまうのかなと思いますので、そんな感じで考えているんですが進めていただけたらなと思います。

会 長 ありがとうございます。私もちょっと同じようなことを思っておりまして、同じ形、ここから諮問に対しての回答をしていますので、それで矛盾があるんじゃないかということのご指摘があるのかなあと思ったりもしていたんです。ただ、今あるものについては、もうやはり課題解消する中でよりもっといいものを考えていく。例えば、今の図書室につきましても、蔵書ももっと少なくとも利用の方がこういう蔵書がいいなというものを月ごとに入れ替えて、そこがサロンとか居場所とかそういう自習室になるのか、そのスペースはやっぱり確保していく。それとこのアンケートの中で出てきている、公民館とかそういうところの方が行きやすい。弥栄の場合には、公民館の中にありますので、公民館の職員さんがそれも見て、無茶苦茶なことをする子供たちは行かないと思いますけど、そういう形で管理ができる、そういうような場所、そういう空間を設定をしていく。中学校の子供たちが帰りにちょっとそこで集まって、文化祭の打ち合わせをするとかとか、日曜日なんかは学校でできないから、そういったところロビーを使わせてもらうとか、なんかそういうふうな多目的な部分での空間がそれぞれの図書室の、そういうふうな新しい形で考えていく、というのもいいんじゃないかなあと思って。そうすると今までと同じ、中央の図書館と同じものを目指して図書室を作るのではなくて、その地域にのニーズに合った、今あった 20% の人しか使っていないというような辺りも、よりそういう人たちにも使っていただいて、また広がっていくようなものが今後意見交換とか意見出していただく中でより深まっていったらいいんじゃないかなというな思いをしておりました。

委 員 今の件ですが、確かにそうです。だけど、今、公民館を活用するにも料金がいるんです。部屋を借りたいと思ったり、子供たちに多目的に使っていいよ、ここいいよっていえるよに、公民館の使用の仕方をもう 1 回見直す必要があると思います。もう、高齢者が利用できる施設も使えなくなっただけです。ということは、もう全部公民館なんです。ただ、1 時間半か半日でいくらと料金が出るんです。だから、そういうことを考えると、どうしたらいいかなあ、確かにそれでいいんです、私は。みんなが活用してよかったと、そういう使い方ができるように、

市から予算が、個人が出さずに市から出るなら、今まで通りに使ってもいいですよ、自由にとならないとそれは不可能に近いと思います。ごめん。

事務局 今の話で言いますと、これ確定の話じゃないですけど、いわゆる図書館サービスというのは公共のサービスですので、例えば場所として公民館のどこかを使うことになったらそこに利用料は基本的に発生しないことで考えていくと思います。図書館としてのスペースということになると、そこを貸してくださいにはならないので、公民館の場合、貸し館として部屋をお貸ししているの、個人利用ですとか団体利用で、それはもう決まった金額で利用していただけてますけども、今おっしゃるような今意見出たようなことで言いますと、あと、公民館を何か図書館のサービスを提供する場所として使えるとなったら、そこはもう公共サービスですので、そこに利用の料金は発生しないというふうに考えていくと思います。

委 員 それともう1つ、区長会で説明すると言われましたね。ほんとうに知ってないんです、図書館がどうふうに動いているとか、市の計画もほとんど知られていません。よほど上手に説明しないと、そんなもん必要ないとなったら終わりです。もう本当に難しいです。

事務局 上手に説明したいと思います。もうそれに尽きると思うんです。今回は委員もおっしゃってくださったんですけど、利用者の声だけではなく、地域の方に聞いていくというところの、ちょっと足がかりということで区長さんたちにこういった状況にあるということを説明させてもらって、地域に入らしてもらうときにご協力くださいねというようなところまでお話ができたらいいなというふうに思っております。

委 員 このアンケートの調査は、図書館利用者のアンケートがほとんどですよ。図書館に行ったことがないとか、利用したことはない人は私の知り合いにもいません。ですけど、今度のアンケートは一般向けにしてもらうということで、またちょっと違った結果が出ると思うんですよ。みんなで考えていくというには、やっぱり利用者だけと違って、利用しない人もじゃあどうしたらいいかって思っておられるという、その利用しない人側からの考えも聞かしてもらおうと、地域のためだと思ってお考えを聞くんだろうし、お考えを出していただくんだろうと思いますので、ぜひそれもやっていただきたいです。やっぱりその生活によって、図書館を利用しなくても本を買ってくるっていう人もありまじょうし、やっぱりこういう便利な場所、自分の人生の中で計画的に自分の人生の色を変えていくっていう意味では図書館って素晴らしいと思うんですよ。そういうところをちょっと芽を出させていただくと、行かない使ったことがないっていう人も変わってくるんじゃないかなあと思いますし、そういう人が地域にぽこぽこ出てきたら、

地域も変わるだろうし、理解もできるだろうと思うし、その方の人生も図書を利用することによって変わってくるように思います。ぜひそうしていただきたいです。

教育長 今、委員の皆様からいろいろご意見いただいて結局そういうことだと思うんです。今は利用する人の声は聞けましたと、多くの方が私たちの60代か70代が圧倒的に半分いますと。子育て世代に届きたい、届けたいのに、子育て世代に届いていません。というところで言うと、じゃあ子育て世代にどう声を聞くのかとか、地区の方にも聞くにしても今、委員が言われたように情報が、どの程度の中央図書館ができて、そしてどういう機能は残していこうと思っているかどうか、残すこともできるんじゃないかということも含めてご意見もらわないと、なくなりますか、0か100でとなると、それは残してほしいということにどうしてもなってしまうので、その部分も考えていけたらというふうに思いますし、私みたいな60代ですけどこの前の市の教育振興計画の無作為抽出というのも、無作為で抽出するからといってどの年齢層からも同じ率だけ上がってくるのかというと、熱心な60代70代から圧倒的に反応があって、大事な子育て世代からの反応が少ないんですよ。そうすると、それをトータルとした声にすると、結局60代70代の声が半数以上の声で、大勢を占める声になってしまうので、そこは十分考えていきながら、今子育てされているとか子供たちにどんな読書活動をして欲しいかって思っている方々のところへ何とか声が届いて、それが反映できるようなところをちょっと考えていきたいなと思っています。

委 員 たくさんいろんな意見が出ていることに関係する意見や、全く関係ない自分の意見を言うんですけれども、まずアンケートの結果を見させてもらって、とてもよくわかるアンケートだと思いました。設問に対する回答、それをまたさらに細かく分析してあったので、これは参考になるなとまず思いました。それで今、図書館に行ったりして、今議会の方から附帯意見が出ていることも含めて、すごく新しい図書館が建つということもありますけれども、関心が高まっている中で、この間の議会でも3人の議員さんが図書館に関する質問されました。傍聴なかなか行けないのでインターネットで聞いていました。質問したらば、その回答が出るということはなかなか議会ではないんですけれども、でも大勢の議員さんが関心を持ってくださっているというのは、とても感じました。いいことだなと思います。今図書館に興味のない人がいっぱいいることわかります。もう行かない人は全く行かない、行く人はずっと行くみたいところで、行く人の方がもちろん少ないんです。全く関係ない人はもう本当に利用しないんです。本も、文字離れもしていますし、すごく課題はたくさんあると思うんです。けれども、今回の新しい中央図書館的なものができるときには、今度は複合施設なので、子育てで支援で行ったお母さんたちが傍に本がある。それから、会場ホールで音楽聞きに

来た人が、あそこに本があるみたいな施設なので、すごく夢なんですけれども、読書人口が当然増えてくるだろうなと思いますので、もしできれば、本当に図書館は図書館、ホールはホールみたいな感じじゃなくて、本当にパッと見たら横に本があるみたいな、そういう施設になってくれたら随分変わってくるんじゃないかなあと希望を持っています。アンケートの結果をちょっと読ませてもらって感じたことを言わせてもらうんですが、確かに本当にこのまま残してほしいという意見はもう切実で、そういうのを聞くこともっともだと思います。やっぱり今あるものがなくなる不安っていうのは、生活が変わってくるので、誰も感ずることであって、小学校の統合っていうのもその最たるもので、もっともっと大変だったんだろうなと思うんです。その中で、アンケートの結果の中で、車で移動する人が80%というのを見て、すごくこれは限られた人であるんですけども、車で移動するのであれば、先ほど時間のアンケートもありましたけれども、市内を車で移動する人だったらちょっと足を伸ばして、そこが魅力的な施設であれば足を伸ばしてくれるかなという希望を持ちました。ただ、高齢者が歩いて行って本を借りるっていうことができなくなるというのも、それは切実な問題であるので、残してほしいというその気持ちもととてもよくわかるので、私最初に本計画の策定会議に行ったときに、まだ全然誰も何も言ってないときに、まず最初に弥栄と、大宮はなくなるんですかみたいなことを自分で言ってしまったんですけども、それも決まってないことでありまして、答申は答申で中央図書館的なものを建てる、建ててほしいっていうことはあるんですけども、統合すると何もまだ決まってない中で、やっぱり特に大宮からは意見がたくさん出ているっていうのも、ちょっと他からも聞いていまして、それはもう全く無視してもう全部潰してしまったらいけないのじゃないかなと思っています。いろいろな案も出る中で、私もやっぱり何かの形で利用していける。でも行ってみたら、新しい図書館もよかったみたいな形に持って行って、だんだん縮小するのがいいかなと思ったりしまして。例えば、市民局の中に、本を返却できるポストがある。それから、そこに職員を配置するっていうのはなかなか難しいかなと思ったりもするんですけど、それが理想ですけども、そこで本の予約ができる。それからそこで本が配本されてきて、受け取ることができる。というようなシステムを、最小限、それは残していけるんじゃないかなと思います。ただ現物がないと、本当に選べないので、文字だけで選ぶっていうのは厳しいところがあると思うんですけども、今のままの施設を残すって、基本計画のパブリックコメントも読んだんですけど、そんな大きなもの建てる必要はないんだと、今の施設を充実させるみたいな意見もあったんですけど、今の施設そのままだと問題は何も解決できないので、大宮は、天井が低くてもう見通しが悪い、子供たちの本を読む自習室もない、弥栄もやっぱり狭い、それはもう全然変わらないんだなあと思うんです。残したい気持ちもあるんですけども、やっぱり変わっていかないといけないんじゃないかな。それで、今のままの施設を例えば広げるとか、でもすごく多くの予算がいるわけで、

やっぱり新しい方に変わっていきつつ、今附帯意見の中にもありましたけれども多くの意見を聞いて、そして、やっぱりできることは残していくみたいなこと、そういう方法を探っていくことが大事かなと。思いました。取り留めない意見ですいません。

会 長 はい、ありがとうございます。

委 員 皆さん言っていたように、同じような意見にはなるんですけども、まず委員がおっしゃられたように、資料1の社会教育推進の重点の4ページ4の(1)の未利用者へのアプローチって書いてあるところが私もすごく気になりまして、この会議でも、私は今までヘビーユーザーで2週間おき以上に図書館に行っているものなので、図書館大好きなですごく皆さんのおっしゃられる夢のあるお話も、すごく素晴らしいなと思っていたんですね。でも、うちの家族でも4分の1ですし、4分の3は全く図書館行かない人間ですし、私事ですけどこの3ヶ月ちょっとパソコンの勉強に行っていたところ、その仲間に図書館の話をし聞いてみたんですね。こういうことをやってるんだけどっていうことで、パワーポイントの勉強がてら、こんな図書館があったらいいなっていう私の夢の話をちょっと話したらみんながすごく興味を示してくれて、言っていたことが広報にも載っていたよみたいに言ってくれて、すごくウケがよかったんですね。一生懸命なんかこう夢のある話をすると、それがパソコンの勉強ではあったんですけども、若い子育て世代の人が、子供にこんな本を読ませてやりたいと思うんだけどと聞いてくれたりして、すごく話せばわかる興味を持ってもらえるんだなっていうことが1つあったのと、図書館を私みたいに利用している人はその場でも10人ぐらいの中でもあんまりいなかったんですね、私みたいに利用ヘビーユーザーはいなくて、リクエストをして、届いたって連絡が来たら2週間おきに取りに行くっていう人もいて、そういう方はやっぱり空間とか居場所としてではなく、本をただ単に本を借りる場所として利用しているって方で、そういうような、今まで通り昔ながらの利用の方もあっても十分それもいいんですけども、それだけ図書館に2週間おきに行っているけど、自分が借りる興味のある本以外には全く興味がなくて、図書館にそのアンケートがあったこと自体も知らないと言っておられたんです。2週間おきに図書館行っているけど興味がない人にはアンケートが目に入らないんだなと思って、ちょっと私はびっくりしました。やっぱりここでは、興味のある人たちの集まりなので、本当に興味のない人の意見をどのように取り入れるのかっていうことは、本当に工夫が必要なんだなというふうに感じました。その人が一晩考えて次の日に私に、こんなことやあんなことやってほしいといっぱい意見を言われたので、それがやっぱりその人はパソコンを使われる方なので、パソコンからアクセスしやすいようにしてほしいとか、なんかホームページにもとても詳しい方なのでちょっと私には理解できないんかったんですけども、意

見や要望を普通の図書館のホームページから、常日頃から取り入れられるようなことができるんじゃないのとか、これもあれもパソコンからできたらいいねみたいなことを言ってくれて、そういう意見を私もう本当に市民のごくごく1人、私が聞いたのももう10人ぐらいの人ですし、皆さんもそれぞれ周りの人がいたとしても本当に少しなので、常日頃利用してない人興味のない人の意見を聞く工夫として、地区の区長会へ出て行かれるっていうのを本当にいいことを計画されているなあと思いました。他にもそういうところ、何か子育ての人たちの意見を聞きたいんだったら、予防接種とか乳幼児健診の後お時間をいただくとか、何か工夫をすることが、特に市役所なので市役所関係でそういうことに出るとか、何かいろんな工夫はいろいろ考えていただけたらいいのではないのかなっていうふうに考えました。あとそのパソコンで何でも意見が言えたらいいわっていうのも、1つの意見ですし、むやみやたらとね炎上するような形にならないように、アンケートの箱でも好きなこと書いてね入れられるんですけれども、もうせっかく職員さんがおられるので、もっともっと職員さんの方からここにアンケートあるのとか、そういうことも必要でしょうしそういうコミュニケーションをしてもらったらいいいのかなというふうにも思いました。

委員 はい、私近頃、関係ないようですけど関係あるなと今委員の話を聞いていて思ったんです。子育て支援サロンをしていました、赤ちゃんと30代と20代のお母さんを相手にお世話をしているんですけれども、最近すごく、歳を感じる感覚的にか、思考の違いとかいうのやら、空間の使い方が違うとかいうのをもうこの年度末に感じていて、取りまとめをしないといけないのでしてるんですが、やっぱり若いお母さんたちの意見を聞くっていうのは、私たちの感覚にないものを持っておられるので、やっぱりこれからの考え方とか、そう違いはないけどこれちょっと違うような気がするけど、やっぱりこう考えるんだねっていうようなこともあるんです。今、峰山にまちまち案内所という施設があるんですが、そこがいつも満員で、私も他の会合でも使いますし、それから視察に行くとかで行きましたら、わいわいとにぎわっているんです。この間、子育てサロンの役員会をしようかと言ったら、そこなら行くっていうことで、そこなら集まりやすいし、どんな人も来ることができるし、垣根が低いという感覚を私は持ったんです。行きやすい場所、さっきの空間だとか、居場所づくりとか、新しい図書館はそういう場所だと先ほどありましたね。私はもうこれは時代の流れで、そここのところに力を入れてもらうことが、無料で利用できる、おしゃべりもできる、おしゃべりせんでも手芸でもし思ったらそこで何人か集える、そういう場所がもう今すごく必要で、今私たちの年代はお友達としゃべろうかと思ったら、家に来てくださって呼んだんですけど、今そんなことしないんですよ。家もちっちゃいし、そういう場所があったら大勢が集まれるっていう、感覚的にちょっと私は理解できるところもあったりして、おばあさんの感覚ってこれだなと、自分の歳をすごく

感じたんですけど、そういう若い人たちの感覚にも寄り添えるような、また、高齢者の感覚でも寄り添えるような場所づくりとか、それからその空間スペースをやっぱり重点的に考えていただいて、そのアンケートもそういう人たちの集まるようなところ、それから、私は峰山と大宮しか知らないんですけど、もうちょっと工夫して、にぎやかにして何だこれはって思えるような工夫も要るかなと思います。ぜひそんなことをお願いしたいです。

会 長 はい、ありがとうございます。たくさんご意見いただきました。最後に委員、せっかく来ていただいておりますので、一言。

委 員 はい、いや計画そのものはすごく夢のある話なので、来るたびにこの写真こういう資料を見せてもらって、すごく妄想は膨らみます。もう自分の子供はもう大きくなってしまったので、でも小さい頃には、家内が子供を連れて峰山図書館よく行かしてもらっていて、本も借りていたので、そういうことをやっぱり充実していくのは、子育て世代にとってはとてもありがたいことだと思いますし、本当に早く実現できればいいなと思っています。先ほど副会長がせっかくピカピカの施設ができるので、新しい本もたくさん入れていただいと言ったんですけど、一部の学校では本が余っている状況があるんです。再配置で統合した学校なんかだと、同じ本がどの学校、それかつては各校に一冊ずつ本が集まってきて、3冊ずつあったりするんです。それが今たくさん予算もつけていただいているので、どんどん新刊は入ってくる、どんどん学校図書室は充実してるんですけども、置き場所がなくて、そういった本が倉庫に眠っていたりするんです。そういうものが活用できないのかなとちょっと今お話聞きながら、あそこの倉庫にしまったしまった本はもう、日の目を見ることはないのかなと思うのもったいないので、あれもどんどん出してもらえたらいいんだけどなあ、なんてことをちょっと思いながら聞いておりましたすいません、以上です。

会 長 はい、ありがとうございます。活用とか、それなりに整備してそれぞれのね、学校ごとに工夫していただいていると思いますけども、情報交換等ありましたら、そしてより活かせる形でお世話になりたいなと思います。

 はい、今日は本当にたくさんご意見いただきましてありがとうございます。以上で議事の方、報告事項の方は終了させていただきたいというふうに思います。その他で事務局ありませんでしょうか。

事務局 事務局の方からは議事のその他は特にございません。

会 長 はい、そうでしたら、以上で終了させていただいて事務局の方へお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

事務局

はい、村上課長ありがとうございました。皆様ありがとうございました。

議事としては終了いたしました、事務局の方から事務連絡というような形になりますがご報告といいますかお話をさせてもらえたらと思います。

この図書館協議会なんです。任期が次の5月までとなっていて、今のこの委員でのこれが最後の協議会の会議になるかなというふうに思っています。5月5日までが任期ということになっておりますので、任期いっぱいまで委員としての職務をよろしくお願いしたいなというふうに思っております。2年間という任期ということでその前から引き続きでしていただいている方も多いので、2年間に限らないんですけれども、1つ区切りということでありありがとうございました。お世話になりました。また次の期というところの人選といいますか、協議会はなくなりませんので、また次の動きをしていきたいと事務局の方で思っております。もしかすると、また引き続きのご相談ですとかお声掛けなどをさしてもらう可能性もあるかなというふうに思っております。また、そういった場合にはご協力もお願いできたらなというふうに思っております。そういったことで、皆様のこの2年間の委員活動いただきまして本当にありがとうございました。すいません、事務局からは以上になります。

● 閉 会

事務局

それでは本日、長時間ありがとうございました。閉会に当たりまして、松岡副会長からお言葉をいただきたいと思います。

副会長

お疲れ様でした、ありがとうございました。最初の方でコロナの4年間という話が出ましたが、本当にコロナの4年間だけ言っても、本当に世の中が変わっていて、自分の年代を考えるともうとてもついていけなくて、大変だなと思っています。その中でやっぱり大事なものは何か、図書館協議会として何かどうしたらその子供たちに読書の大切さを伝えていけるのかっていうことは、引き続きまたみんなで考えていかないといけないなと思っています。私事になるんですけど、プールで泳いでいまして、そしたらもうあと1年ぐらいでプールがなくなると聞いて、すごく悲しいと思っています。年間100回を目指して頑張っているんですけど、自分で行って、クロールは1キロを必ず泳いで帰ってくるんですけど、なくなったらどうしようかなと思っているんです。人に言っても、プールに興味のない人は全く行かないので、もう全然私の嘆きは誰にもわかってもらなくて、行かない人は全く行かない施設です。先ほど図書館もそういう話が出まして、一緒なところはあるなと思いました。図書館も本当に利用しない人は全く利

用しない、ところなんです。プールもすごい高齢者にはいい運動なんですけれども、図書館も来て本を読んだらすごくいいんですけど、そのよさがなかなか伝えられないということがあります。なので、アンケートをとったりご意見を伺ったりして、また新しい施設ができましたら、本当にその本のすばらしさもわかっていただきたいなと思ひまして、まだまだ4年、5年先のことでありますので、それこそ体を鍛えて、出来たときには、大宮まで通える体にしておかないと、ということ をすごく思ひます。いろいろなご意見、今日はすごく活発に出たと思ひますし、 どうもありがとうございました。お疲れ様でした。

事務局 ありがとうございました。それでは閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございます。